

# 令和6年2月27日からの 千葉県東方沖の地震

## 事務局資料

# 相模トラフ沿いの地震活動の長期評価（第二版） プレートの沈み込みに伴うM7程度の地震

相模トラフ沿いで次に発生する地震

## 相模トラフで次に発生するプレートの沈み込みに伴うM7程度の地震の発生確率

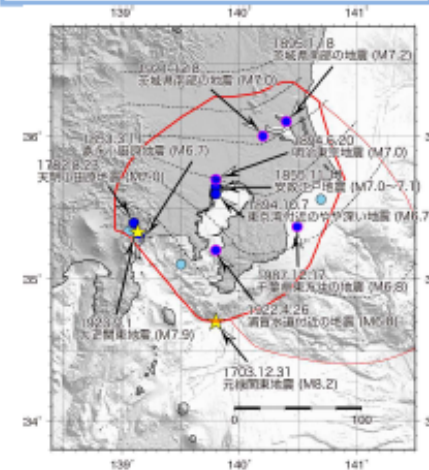
- プレートの沈み込みに伴うM7程度の地震は、評価対象領域内のどこかで発生するものとして評価
- 元禄関東地震(1703年)と大正関東地震(1923年)の間の220年間でみると、平均して27.5年に1回の頻度でM7程度の地震が発生していることから、これを平均発生間隔として地震発生確率を評価

### 発生確率

領域	規模	30年発生確率
プレートの沈み込みに伴うM7程度の地震	M7程度 (M6.7~M7.3)	70%程度

※浅い地殻内の地震については評価に含めていない。

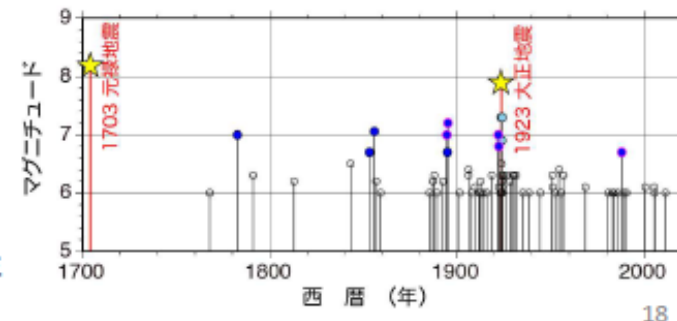
### 評価対象領域



- :本評価で対象とした地震
- :大正関東地震(1923)の余震
- :前回評価対象とした地震
- ★:M8クラスのプレート境界地震

## プレートの沈み込みに伴うM7程度の地震の特徴

- 元禄関東地震(1703年)と大正関東地震(1923年)の間の220年間でみると、地震活動は前半は比較的静穏で、後半に活発、また、大正関東地震(1923年)以降現在に至る90年間でみると、静穏な期間が継続  
⇒ 今後、次の関東地震の発生に向かって、地震活動が活発になる可能性
- 1894~1895年にかけて3回、1921~1922年にかけて2回の地震が発生  
⇒ 短期間に連続して発生する場合がある



# プレートの沈み込みに伴うM7程度の地震

1703年元禄関東地震から1923年大正関東地震までの220年間に、  
M7程度（M6.7～7.3）の地震が8回発生

1782/8/23	天明小田原地震	M7.0
1853/3/11	嘉永小田原地震	M6.7±0.1
1855/11/11	安政江戸地震	M7.0～7.1
1894/6/20	明治東京地震	M7.0
1894/10/7	東京湾付近の地震	M6.7
1895/1/18	茨城県南部の地震	M7.2
1921/12/8	茨城県南部の地震	M7.0
1922/4/26	浦賀水道付近の地震	M6.8
1987/12/17	千葉県東方沖の地震	M6.7、Mw6.5

確率の計算に  
用いた地震